

高体連主催県大会（長野県高等学校総合体育大会、長野県高等学校新人体育大会）
における新組合せ方法
（地区順位尊重型チームポイントシード制）

1. 目的

従来の地区ポイントシードでは地区の順位により対戦するチームが限られてくる。地区大会で敗退しても県大会でもう一度チャンスが出来る可能性も含め、新しい組合せシード方法を考える。

2. シード方法

地区大会を行っているのでその順位を尊重しながらのチームポイントシードとする。ただし、地区大会3位までのチームをシード対象とし、過去3大会の県大会の順位をポイント化し、順位を付けシード順位を決定する。ポイントは1位を10点、2位を5点、3位を3点、4位を1点とする。ただし、3位決定戦をしない春高の3位は2点。ベスト8を0.5点とする。

3. 方法

32チーム参加の組合せを4つのブロックに分ける。

第1シードをAゾーン、第2シードをBゾーン、第3シードをCゾーン、第4シードをDゾーンの位置とする。

得点の一番高いチームをAゾーンに、2番目に高いチームをBゾーンに、3番目に高いチームをCゾーンに、4番目に高いチームをDゾーンに入れる。同点の場合は直近の大会の順位の高い方とする。5番目以下はD, C, B, Aの順となる。

地区の順位を尊重し各ゾーンの順位位置にそれぞれを当てはめる。

地区1位がすべて入っていない場合は抽選で残りの1位の位置に残りの1位チームを入れる。（地区順位尊重型のため地区1位は入る位置が決まる）ただし、ポイントがありシード順位5～8位にある場合は該当ゾーン（他の1位が入っていないゾーン）に入ることになる。

ポイントの5番目のチームをDゾーンに入れる。ただし、すでに2チームが入っている場合や地区順位が同じチームが入っている場合にはC、B、Aのシード順に空いているゾーンに振り分ける。同様に6番目、7番目、8番目までポイントがある場合もシード順に振り分ける。

各地区の順位の通りに各ブロックの位置に当てはめる。地区2位、3位が全部入っていない場合は抽選で各位置に当てはめる。

以上で各地区の第3位までがシード順1～2位までの位置に入っている。

各地区第4位のチームを抽選で4つのゾーンに振り分け4位の位置に当てはめる。

各地区第5位から8位までのチームを1回戦同地区と対戦しないように抽選で当てはめる。その際に、5位は4位、6位は3位、7位は2位、8位は1位と対戦するようにする。

全部の組合せが完成したところで地区1位のチームでポイントが一番高いチームをトーナメント表の1番とし会場をメインの位置とする。（地区2位のチームがポイントが高くAゾーンにいる場合も起こり得るため）